

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 5 月 20 日 (2021.5.20)

【公開番号】特開 2019-63102 (P2019-63102A)

【公開日】平成 31 年 4 月 25 日 (2019.4.25)

【年通号数】公開・登録公報 2019-016

【出願番号】特願 2017-189728 (P2017-189728)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 5/04 5 1 2 C

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 4 月 7 日 (2021.4.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技に関する制御を行う遊技制御手段と、

電源遮断後においても各種情報を記憶領域に記憶保持することが可能な記憶手段と、

前記遊技制御手段が行う制御に関する設定値を設定する際に操作される設定操作手段と

、
前記記憶手段に記憶保持される情報を初期化するために操作されるクリア操作手段と、
電源投入を行うための電源投入手段と、
外部に各種信号を出力可能な外部出力手段と、
を備え、

前記電源投入手段により電源投入されたときの前記設定操作手段の操作状況と前記クリア操作手段の操作状況とに基づき、前記設定値を設定可能とする設定状態を発生させることが可能であり、

前記電源投入手段により電源投入されたときの前記設定操作手段の操作状況に基づき、前記設定値を確認可能とする確認状態を発生させることが可能であり、

少なくとも前記遊技制御手段と前記記憶手段とが遊技制御基板に備えられ、

前記遊技制御基板は前記設定操作手段とともに一つのケースに収容されており、

さらに、前記一つのケースには、付与された遊技価値に関する情報を表示する遊技価値表示手段が収容されており、

前記遊技制御手段は、前記設定値を設定可能とする前記設定状態および前記設定値を確認可能とする前記確認状態において、前記遊技価値表示手段を用いて前記設定値の情報を表示可能であり、

前記設定状態が開始された場合だけでなく前記確認状態が開始された場合も前記外部出力手段から信号が出力される

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0002
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0002】

従来、パチンコ機等の遊技機として、遊技場管理者による設定変更操作によって、当落抽選の確率や各種演出の実行確率等の設定状態を複数のいずれかに設定する遊技機が知られている。

【手続補正3】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0003
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0003】
【特許文献1】特開平6-91049号公報

【手続補正4】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0004
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0004】

前述した設定機能は、遊技者が獲得する賞球に関する遊技機の性能を変更でき、設定機能によって、ホールの営業方針に沿って遊技機の性能を変更できる。一方、設定の変更によって遊技者が得る遊技利益が変化するので、設定操作が容易だと、誤って設定を変更する可能性がある。

【手続補正5】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0005
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0005】

本発明は、遊技機の設定に関する誤操作を抑制することを課題とする。

【手続補正6】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0006
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0006】

本明細書に開示される発明の一例は以下の通りである。遊技に関する制御を行う遊技制御手段と、

電源遮断後においても各種情報を記憶領域に記憶保持することが可能な記憶手段と、
前記遊技制御手段が行う制御に関する設定値を設定する際に操作される設定操作手段と

、
前記記憶手段に記憶保持される情報を初期化するために操作されるクリア操作手段と、
電源投入を行うための電源投入手段と、
外部に各種信号を出力可能な外部出力手段と、
を備え、

前記電源投入手段により電源投入されたときの前記設定操作手段の操作状況と前記クリア操作手段の操作状況とに基づき、前記設定値を設定可能とする設定状態を発生させることが可能であり、

前記電源投入手段により電源投入されたときの前記設定操作手段の操作状況に基づき、前記設定値を確認可能とする確認状態を発生させることが可能であり、

少なくとも前記遊技制御手段と前記記憶手段とが遊技制御基板に備えられ、

前記遊技制御基板は前記設定操作手段とともに一つのケースに収容されており、

さらに、前記一つのケースには、付与された遊技価値に関する情報を表示する遊技価値表示手段が収容されており、

前記遊技制御手段は、前記設定値を設定可能とする前記設定状態および前記設定値を確認可能とする前記確認状態において、前記遊技価値表示手段を用いて前記設定値の情報を表示可能であり、

前記設定状態が開始された場合だけでなく前記確認状態が開始された場合も前記外部出力手段から信号が出力される

ことを特徴とする（例えば、段落 1 0 9 1 ~ 段落 1 4 0 5、図 1 2 5 ~ 1 3 5、図 1 4 6 ~ 1 5 3 などを参照）。

【**手続補正 7**】

【**補正対象書類名**】明細書

【**補正対象項目名**】0 0 0 7

【**補正方法**】変更

【**補正の内容**】

【**0 0 0 7**】

本発明によれば、設定に関する誤操作を抑制することができる。